

大楽毛小学校防災教育推進プラン2

北海道
釧路市立大楽毛小学校

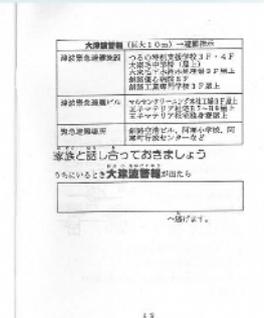
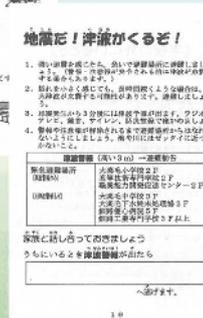
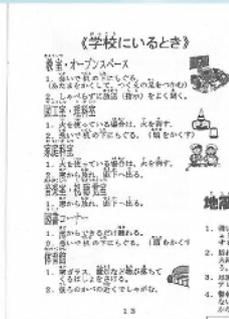
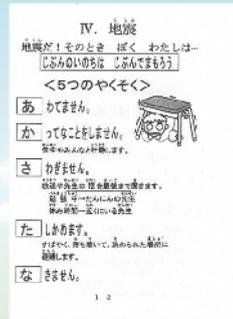


大楽毛

- ・太平洋沖に面し、地震が多い地域。
- ・津波の心配も大きい。10mを超える津波が起きるおそれもある。
- ・地域に高い場所がない。線路や橋もあり、交通面での心配もある地域。
- ・学校と地域とのつながりがとても大きい。

子ども達全員の命を守るために

1. 非常持ち出し袋、安全ノートの準備や活用啓蒙、緊急時メール配信制度の整備



子ども達全員の命を守るために

2. 地域や保護者と共に実施する大津波警報発令時の避難訓練(学校から1.2km離れた新道への避難)の実施



子ども達全員の命を守るために

3. 「学ぼう防災」と題し、4年生の総合的な学習にカリキュラムの位置づけ

そのほかにも全学年

- ・道徳 ・特活 ・教科
- ・総合的な学習などで 系統的に



AED実技講習も5年生に位置づけ緊急時に役立つように

子ども達全員の命を守るために

4. 震災関連本の紹介や読み聞かせ、非常持ち出し袋などの展示、防災かるた等の実施



子ども達全員の命を守るために

5. 防災教室の実施



クロスロード
ゲーム



暗闇避難体験
新聞紙で食器作り



簡易担架作り
ロープの結び方



コミュニティ・スクールの機能を生かし、 地域と共に

- ・学校単独ではできない大規模な取り組みが展開
 - ・地域に根差した実践、地域をよく知る講師の下での学び
- ～大楽毛ならではの防災教育～

- ・情報の双方向化

○共有 ○協力 ○要望 ○深まり

釧路市全体の防災教育・防災講座も充実

子ども達全員の命を守るために

今後

- ・マンネリにならないような工夫
- ・「防災＝避難」以外への広がり
- ・地震や津波以外の防災教育への拡充

地域と共に進める防災教育 確実に成果